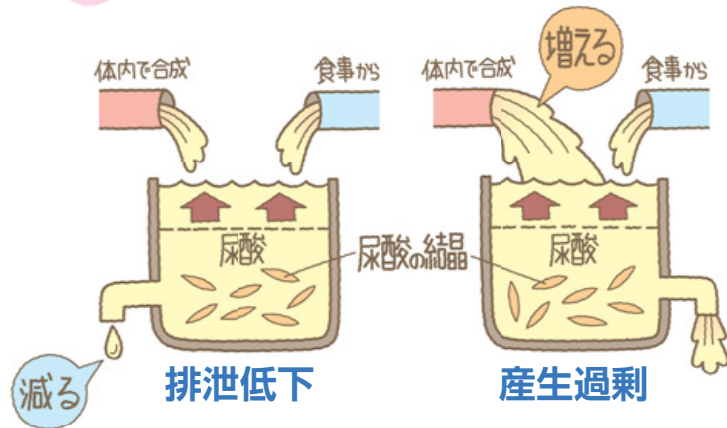


高尿酸血症と診断されたら…①

ポイント1 原因は?



● 個人差がありますが、一般的にいわれているのは尿酸の8~9割が体の中のプリン体から合成され、残りが食事で摂取したプリン体からとされています。尿酸は尿や便から排泄されますが、体の中で尿酸が作られすぎること(産生過剰)や体の外へ捨てられる量が少なくなること(排泄低下)が、尿酸値を高くする原因です。



高尿酸血症とは、体の中に「尿酸」という物質が増え、そのまま放っておくと関節や腎臓などに結晶としてたまっていく病気です。血清尿酸値が7.0mg/dLを超えると黄信号で、さらに8.0mg/dL以上ある場合は、痛風発作がいつ起こってもおかしくない赤信号状態といえます。症状がないからといって放置していると、発作を引き起こすだけでなく、腎臓の働きが悪くなってしまいます。また、脳卒中や心筋梗塞などの危険因子ともなります。それを防ぐため、生活習慣の改善や薬物療法により、血清尿酸値を正常範囲まで下げ、コントロールすることが大切です。

ポイント2 治療方針は?

日本痛風・核酸代謝学会 ガイドライン改訂委員会 編:
高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版,
2018, 診断と治療社より改変

